



JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

JHFレポート

9・10月号
2000年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>



高く澄み渡った青空に

天高くフライヤーの夢肥える秋、夢の実現に向かってテイクオフ。

辻強、PWC 優勝！

PG歴9年、29歳。日本人初の快挙を成し遂げた笑顔。ポルトガル戦でも8位に入る健闘ぶり。

この夏もヨーロッパで多くの大会が開かれ、日本から何人もの選手が参加し健闘した。なかでも特筆すべきは、PWC グラナダ戦(ワールドエアゲームズ & パラグライディング世界選手権のプレ大会)優勝を成し遂げた辻強選手の頑張り。この日本人初の快挙に、たくさんのフライヤーが勇気づけられたことだろう。これから第二、第三の辻が世界へ飛び立つために、JHFはどんなバックアップができるのか、長い目を持って考えていかなければならない。

*

ハング・パラグライディングの普及には、指導者を養成し、その質を高めることが欠かせない。JHFは今年度の教員研修検定会を11月に茨城県で開催する予定だが、初の教員更新講習会を合わせて行うことを決めた。すでに実績のある教員にも年々進歩していく機材や技術について学び、新しい知識を教習に役立ててもらおうというもの。

10月にパラグライディングと補助動力付パラグライディングの日本選手権がある。どちらも好条件に恵まれますよう！

JHF 広報出版局



女子HG世界選手権トップ3。
右から2位モセリン、1位キャッスル、3位ブル。(撮影：香川祥子)



プレワールドHG選手権上位選手。
左からクラス1の3、2、1位、クラス2の1、2、3位。(撮影：板垣直樹)

JHFレポート 9・10月号

Contents

- P2 **特集 1** 2000年夏、欧州の陣。
ヨーロッパで開催された3大会を報告
- P4 **特集 2** レスキューパラシュート
持っているだけで安心するな!
- P7 JHF登録スクール一覧

- P8 県連だより
- P9 県連ニュース 連絡ノート
- P10 委員会の動き JHSCから JHSC議事録
- P11 理事会ダイジェスト 理事活動報告
- P12 **@sky** 空の楽しさ満載。トルコの学生大会報告も!

2000年夏、欧州の陣。

夏のヨーロッパは、魅力的な大会がいくつも開かれる。
世界の頂点に立つことを目標に、
また、トップコンペティターとともに戦うチャンスを求めて、
競技者はヨーロッパの空を流れていく。
この夏、彼の地で飛び競った日本選手の健闘ぶりを報告しよう。

日本チーム、健闘！ 第7回女子ハンググライディング世界選手権

チームリーダー・選手 香川 祥子

6月17日から25日まで、ギリシャのキセロン山エリアで開催された今大会。8カ国から31名の選手が集まり、初日、最終日の悪風によるキャンセルを除き、5日間に渡って競技が繰り広げられた。

楽しい大会にしよう！全員がチームリーダーのつもりで臨もう！これが今回の日本チームのテーマだった。このテーマの達成度は、かなり高かったと言えるだろう。

成績は、国別で4位。個人ではゴール手前わずか600mまで飛んだ陶山園恵が14位、常にじっくり飛んだ高橋恵里子が16位、リフライトで粘りの飛びを見せた香川祥子が18位、いち早く上げ

て他国選手を上で待ち受けた井手有生が21位、先頭集団で飛んで情報を送っていた谷古宇瑞子が27位。全員がそれぞれのシーンでヒロインだった。

大会前半は陶山を筆頭にトップ10を狙える位置につけていてチーム内に盛り上がりがあったが、後半、他国トップ選手との差が開き、レベルの違いを見せつけられた。

グライド時のスピード、コース取りが日本選手の課題としてクローズアップしたようだ。ただ、日本のスケールの小さな空ではこうした練習は難しく、恵まれた条件の海外でどんどんフライト経験を積むべきだと、あらためて思

い知らされた。

優勝したのは、長年世界のトップにいるアメリカのカリー・キャッスル。実力を見せつける堂々の飛びだった。

団体優勝はドイツ。実は競技2日目にモニカ、モニークという実力者2名がケガをしてしまい帰国するというアクシデントに見舞われていた。主力選手2名が欠けてなお、国別優勝を飾り、その層の厚さはあっぱれだった。

上位成績 個人

1位	CASTLE Kari	アメリカ	3347点
2位	MOCELLIN Françoise	フランス	3205点
3位	BULL Neva	オーストラリア	3012点

上位成績 国別

1位	ドイツ	8206点
2位	フランス	7745点
3位	アメリカ	7479点
4位	日本	4927点

*大会のレポートをJHFホームページに掲載中。HG競技委員会のページをご覧ください。



上空から見た開催地・プラターの街。(撮影：香川祥子)



オフィシャルのダンとともに。左から高橋、陶山、井出、香川、谷古宇。

辻強選手、優勝！ PWC グラナダ戦

6月18日から25日まで、スペイン南部のグラナダで、パラグライディングのワールドシリーズ戦が開かれ、辻強が並み居る強豪を抑え込み、みごと優勝を果たした。

この大会は、来夏開催予定のワールドエアゲームズ・第7回パラグライディング世界選手権のプレ大会でもあり、選手、主催者ともに大いに気合いが入っていたようだ。成立した5本のうち2本は、上位選手が200km近くを飛び、選手回収が朝までかかったというス

ケールの大きさ。スペイン最高峰のムラセン山(Mulhacen 3482m)を擁するシエラネバダ山脈にテイクオフ地点があり、なんと標高2800m。練習日には5000mまで上げた選手も。

ヨーロッパ通い15年目の辻は、ショートタスクの初日から着実に点を稼いでいった。上位グループがミスするなか徐々に順位を上げ、遂に首位に立った辻に、感想を聞いた。

「ミスをせず、コンスタントに堅実に得点できたのが、勝因だと思います。優

勝を意識したのは、最後の競技のファイナルグライドに入ってから。それまで誰が勝つかまったくわかりませんでした。今回勝ったことで、やっと世界のトップに並んだ感じ。まだまだこれからです。最大の目標、世界選手権がありますから。」

上位成績と日本選手順位

1位	辻強	日本	4382点
2位	BRUNN Martin	オーストリア	4318点
3位	HEDIGER Andy	スイス	4317点
3位	PUTHOD Thomas	フランス	4317点
加藤豪	29位	扇澤郁	34位
宮田歩	40位	川地正孝	52位
只野正一郎	74位	長島信一	106位
田中美由喜	119位		

グラナダの風は..... プレワールドハンググライディング選手権2000



アルゴドナレスのテイクオフポイント。この他2ヶ所を今回使った。(撮影：板垣直樹)

パラグライディングのワールドシリーズ戦の直後、6月27日から7月5日まで、同じくグラナダ近くのアルゴドナレス(Algodonales)で、ハンググライディング世界選手権(ワールドエアゲームズ)のプレ大会が開催されクラス1・2の競技が行われた。

戦いの舞台となったエリアは独立峰。サーマルコンディションは、残念ながらあまりよくなかった(はっきりいってショボかった、と選手)。パラの方は180kmだ、190kmだと景気がいいのに、こちらはクラス1、2とも101.4kmが最長タスク。今年が特に悪い条件だったのではないらしい。長距離飛ばないといけないが、来年の世界選手権を本当にここでやるのかという声も出たほど。

機体破損続出、怪我人も出る状況下、フライト8本中7本が成立。不成立の1本は「危険なコンディションだから飛ばない」と多くの選手がボイコットした

もの。そのボイコットを呼び掛けたクラス1のゲロルフ・ハインリッヒは、オレグ・ボンダーチュクやリシャール・ウォルベックらと目立っていい飛びをしていたが、堅実な飛びで常にいいところにつけていたベッチーニョ・シュミッツが優勝を決めた。クラス2では、昨年の世界選手権覇者、クリストフ・クラッツナーがタンブルして途中退場という大番狂わせがあり、ムラなく高得点を続けたトニーがトップに立った。

上位成績と日本選手順位

クラス1			
1位	SCHMITZ Betinho	ブラジル	5497点
2位	HEINRICHS Gerolf	オーストリア	5292点
3位	WALBEC Richard	フランス	5116点
太田昇吾	39位	細谷浩憲	76位
花城康貴	77位	クラス2	
1位	RAUMAUFU Toni	オーストリア	5895点
2位	BUSSINGER Diego	スイス	5735点
3位	LEISER Rene	スイス	5703点
板垣直樹	9位	境卓史	12位
石井賢哉	15位	(以上、すべて敬称略)	



飛びたったクラス2機。昨年よりまた一層進化した。(撮影：板垣直樹)

レスキューパラシュート 持っているだけで安心するな!



空を安全に楽しむために必ず装着するレスキューパラシュート。この緊急用パラシュートについて、私たちはどれだけのことを理解しているだろうか。

一度も使わずにフライトすることがベストではあるが、ちょっとした気の弛みからパラシュートを使う場面に遭遇することもある。今回の取材で気付いたのは、空中で他機と接触したり機体が破損するなどのアクシデントで開傘するのではなく、飛行中コントロールバー等にパラシュートのグリップを引っかけてしまったり、間違ったリバックのために、不本意に開傘してしまう事例が意外に多いことだ。このような事故を未然に防ぐためにも、私たちはもっとレスキューパラシュートについて学ぶ必要がある。

何のためにレスキューパラシュートを持つのか

アメリカ連邦航空局発行 リガーライセンス（パラシュート取り扱い責任者）

千田 一博

近年グライダーの安全性への感心も高まり、各地で危機回避トレーニングの機会も増えてきました。とてもよい傾向だと思えます。しかし安全装備の代名詞であるレスキューパラシュートについて知っている人は意外に少ないようです。安全第一にフライトをと思うならば、ぜひともレスキューパラシュートにも感心を持っていただきたいと思えます。

何のために持っているのか

人が空を飛び始めるのとほとんど同時にパラシュートは必須とされてきました。それは、様々な試行錯誤を繰り返すうちに、空を飛ぶものは落ちる可能性があること知ったからです。その歴史は100年以上になります。

現在ではほとんどのスカイスポーツでバックアップパラシュートが装備されています。なぜならばパラシュートを使用して助かった事例はたいへん多いからです。自分の命を守るために! 私たちはそのためにパラシュートを持っているのです。

よく「レスキューパラシュートはお守りだから」ということを耳にしますが、このお守りには使い方があり、賞味期限もあるので。持っているだけではお守りの効果は少ないですし、役に立たない可能性もあるので。

リバックとは?

リバックは何のために行うのでしょうか。

それはパラシュートを正しく機能させるためと、本体に異常がないかを点検するためです。

パラシュートがさらされている状況を知っていますか。

夏にはガンガンの紫外線にさらされ、車のトランクの中ではサウナ状態となり、ハーネスに入り込んだ細かい砂や埃が研磨剤のようになってパラシュートを傷めます。紫外線や高温多湿は、化学繊維でできているパラシュートに大きなダメージを与え、いうまでもなく砂や埃もしかりです。また梅雨時期には、カビの混入もあるので。

それらから受けるダメージが無いかどうかをリバックで点検するのです。よくパラシュートの寿命を聞かれますが、それは普段のリバックで判断します。ですから保管状態が悪いとパラシュートの寿命も短くなり、突然「使えません!」ということもあるので。重要なことは、パラシュートを一度も使って（開傘して）いなくても実際には使っているという認識です。

またラインを束ねているゴム等は熱に弱く、溶けてラインにダメージを与えています（実際はかなり多い）。ですからリバック毎に交換してください。

パラシュートの保管場所も重要な要素になります。ガソリンや農薬等が置いてある場所に置いていませんか。それらの揮発性のあるものを、パラシュートの生地が吸いこんで

ぼろぼろになった事例もあります。

リバックの期限はパラシュートのメーカーによって異なりますので、指示に従ってリバックをする必要があります。

セッティング

パラシュートはちゃんとセッティングされていますか。ハーネス側の容量とパラシュートの大きさがあっていますか。たとえばハーネスに対してパラシュートの大きさが小さければ、パラシュートがハーネスの中で踊ってしまい、ラインがバラバラになって中で絡まる可能性があります。逆の場合はハーネスのテンションが高すぎて、ピンが抜けないという状況も考えられます。ピンの抜ける力は約2kg以上～約10kg以下が目安になっています。またパラシュートを投げるハンドル（グリップ）と本体の長さも重要です。長すぎれば本体がぶらぶらして正しく投げる事が困難になります。

パラグライダーやハンググライダーで翼面荷重が重要なように、パラシュートでも荷重は重要になります。大きなパラシュートを使えばゆっくり降りられていいと思いませんか。実は荷重の小さすぎるパラシュートは気流の影響を受けて揺れやすくなります。このときパラシュートの直径が連続的に変化して沈下率が安定しないのです。たとえば4.8m/sで降下している物が5.2m/sになったり6.0m/sになったりして安定しないのです。これでは目測を誤り、ちゃんと着地ができません。メーカーの推薦する荷重で使用するようにしましょう。

決断!

パラシュートを使う決断、これが一番難し

いでしょう。使うべき状況でパラシュートを投げられなくて、ツリーランディングをしてしまう人は多いものです。「どうせツリーランだからいいや」では済まされません。その人は自分で自分の危険を回避できなかったわけですから……。ダメだと思ったら躊躇なくパラシュートを投げてください。

投げる

現在ほとんどのパラシュートはハンドデプロイ(手投げ)方式です。当然、投げる動作が重要になってきます。その時パイロットはどんな状態でしょうか。物凄いスピンをしているかもしれません。上下が判らないほどのGを受けているかもしれません。そんな状態では腕は普通の何倍もの重さになり、満足に動かせないかもしれませんし、目がどこを見ているかも判らなくなるかもしれません。

普通ではない状況で正しくパラシュートを投げるのは難しいものです。こんなとき普段から投げる手順を体で覚えておく事が重要になってきます。その手順は、ルック(ハンドルを見る)リーチ(ハンドルをつかむ)プル(引き出す)スロー(投げる)の4つに集約されます。実に単純に聞こえますが、スピン状態ではハンドルを見るということが困難になります。何度も練習をして体で覚えてくださ

い。ハンドルが掴めたら、後は冷静に機体の無いところに投げてください。

最悪の状況

ダウンブレン現象を知っていますか。パラグライダーでは、パラシュートを投げた後は潰れていたキャノピーが回復しようとし、特に最近のパラは回復力が高いので、ほとんどが回復するでしょう。回復したパラは前進しようとしませんが、後ろにパラシュートがあるので下向きに飛ばうとします。するとパラシュートが斜めになり、本来の性能が出ないどころか、スパイラル並みの沈下率になってしまいます。これをダウンブレン現象といいます。昔からありましたが、パラの回復力がよくなった近頃ではダウンブレンになる確率は高くなりました。これを避けるには、回復したパラをもう一度潰さなければなりません。片方のブレークコードを引き続けて潰したり、フロントライザーを引いて潰してください。Bストールでもよいですがとても重いです。後は潰したパラを回復しないように取り込んでください。この時、取り込んだパラで視界が遮られないように気をつけてください。なぜならば、ランディング時に下が見えないと、とても危ないからです。

着地

何事も最後が大事です。着地で気をつける事は「止まらない」ことです。無理に足で立とうとして全衝撃を足で受ければ、怪我をする可能性があります。怪我をしないためには「転がる」ことです。一般的には五点着地と呼ばれる方法で、足、膝側面、尻、背、肩の順に転がる事をいいます。この転び方で怪我を防止することができます。アメリカ連邦航空局の規定では、パラシュートは約6.8m/s以内の沈下であることが求められています。理由はそれ以上では安全を確保できないからです。

ハブニングは起こる

パラシュートを使う状況は突然やってきます。それは何万回に1回かもしれません。しかし、必ず誰かにはやってきます。1年のうちで世界中で誰もレスキューパラシュートを使わなかった年はないのです!

パラシュートはお守りだと思っている方、レスキューパラシュートについてあなたの考え方を見直してください。それはいつも無事にフライトを終えるために必要なことだと思います。

そのとき私はパラシュートを投げた

レスキューパラシュートについて理解を深めるために、実際に開傘したフライヤーにその体験を語ってもらった。あなたはこの3人のように落ち着いてパラシュートを投げることができるだろうか。

予想外のダウンブレン。

機体：パラグライダー

月日：1997年9月頃

フライヤー：PG歴6年のP証の男性

状況：フライヤー談

この日は天気もよく、たくさんの方がフライトをしていました。お昼頃にテイクオフをして、しばらくサーマルに翻弄されていましたが、強めのサーマルをつかまえ、すぐに雲底まで上がることができました。海拔で1500mぐらいのところ雲底になっていて、上げきった人たち10人ほどがすでに雲底でうろうろしていました。

このまま旋回をしているとそろそろ雲中に入ってしまうなあと思っているときに、私の前方を飛んでいるパイロットがスーッと雲中に吸い込まれて行き、このままだと私も吸い込まれると思ったので、ステイ中のサーマルの外側に向けて進路を取りました。サーマルから抜け出す瞬間に翼端がパタパタと少しはためきましたが何事もなく、少し高度を落としたらまた同じサーマ

ルに乗ろうと、周辺を飛んでいました。私の乗っていたサーマルはピークで3m/s程で、そんなに荒れてなかったと思います。そんなこともあってか、少し気に弛みがあったのかもしれません。眼下に広がる景色に目を奪われていて、周辺の機体から注意がされていました。

ふと我に返って辺りを見渡すと、私の右目の片隅にキャノピーが入りました。気が付いた時にはすでに回避不能なほど近いところまで近づいていました。慌てて左のブレークコードを深く引き、進行してくるキャノピーと同方向へ逃げようとしたのですが、方向が変わると同時にカシャカシャと音を立てて、私の右ライザー上方にキャノピーがかかってきました。下を見ると、キャノピーの異変に気が付いた相手のパイロットが上を見上げてパニックを起していました。私のグライダーの速度が上がればそのまま逃げ切るのではと思いましたが、相手のグライダーの方がスピードに乗っていたこともあって、すぐに私はライ

ンの中に包み込まれてしまい、脱出は不可能と判断しました。にわかには相手のグライダーが飛行不能となり、私にかかったラインにテンションがかかり始めました。

躊躇なくレスキューパラシュートを視界の開けている方を目掛けて投げました。すぐに開傘しましたが、下方のパイロットの体重が掛かり始め、ラインが腕に食い込んできました。腕が切れるような痛みを耐えていると、下方のパイロットもパラシュートを投げたらしく、腕に食い込んだラインのテンションが和らいできました。これで助かるかと思っていると、次第に降下スピードが増してゆくのを感じました。お互いのキャノピーはすでにグシャグシャになっていて、ふたつのパラシュートが開いているのに降下スピードはどんどん増していき、すぐにダウンブレン*に入ったと気づきました。

パラシュートをカットできればよいのですが、そんなことができるはずもなく、墜ちるままに身を任せていました。わずかに風下に流れながら、地面に向かってスピードを上げ、もうダメだと思いましたが、運が良かったのでしょうか。背の高い樹木が茂る森の中に2人とも墜ち、木にパラシュートが引っかかり、お互いに擦り傷程度で済みました。もし墜ちたところが木ではなく地面や建物であったら、間違いなく2人とも命を落としていたと思います。後でパリオのログを見ると、沈下の

特集 2

マックススピードが15m/sになっていて、あらためて大した怪我もなく助かったことに驚きました。

リバックは4ヶ月ごとにしていたので開傘も早く、パラシュートについては問題はなかったと思います。しかしふたつのレスキューパラシュートによるダウンブレン現象ということはまったくの予想外でした。知識としてはありましたが、実際にそういった状況に陥ると何もできないのだなと感じました。それ以来、混雑している空域は避けて飛ぶようにしています。

*ダウンブレン現象

二つのパラシュート(パラシュートとパラグライダー)がパイロットを支点にY字に広がり、本来のパラシュートの降下速度が保てなくなり、落下スピードが上がってしまう現象のこと。(パラグライダーのような指向性があるもの場合、パラシュートがドラッグになり下向きに滑空する)

知識の大切さを痛感した。

機体：ハングライダー

月日：1997年6月頃

場所：茨城県足尾山エリア

フライヤー：HG歴6年、P証目前の男性

状況：フライヤー談

あの日の天気は曇りで、前線の影響で吸い上げがありました。吸い上げが強くなる前に降りなければと思いながらしばらく飛んで、「さて、そろそろ降りようかな」とウイングオーバーを始めました。ちょっと遊んでからランディングしようとしたのです。ところが吸い上げが予想より強くなっていったために操作のタイミングがずれて、ノーズが真上を向いてしまいました。体重を寄せてももう遅く、今度はノーズがまっ逆さまに下を向いてしまって……。なんとか姿勢を戻そうとするのですが、機体からの反応がなくて、どうしたらいいのかわからない状態でした。そんな時にガクンと衝撃が来て、手を(コントロールバーの)ベースパーから離してしまったのです。アツという間に機体がひっくり返り、本人がその上に乗ってればよかったのですが、翼から滑り落ちてしまいました。カラビナで機体につながっているのに、翼の上にはいないから、ベースパーに手が届かない。落ちる速度はゆっくりでしたが、態勢を立て直すこともできず、「もうしょうがないや」とレスキューパラシュートを投げました。

投げた後に開傘を確認した覚えはありません。下は梨畑だったのですが、ネットが被せてあってその中央にパイプが立っていました。フワフワ落ちながら、そのパイプに串刺しになるのを避けようとして、いろいろやっていたから。結果は、パイプをはずしてネットの上にフワリ落ちたので、人間は無事、機体も大したダメージを受けず、梨の木にも大きな被害はありませんでした。あとになって、本当にラッキーだった

たと思いました。

この時まで、私は開傘の練習を地上でもしたことがありませんでした。ただ、エアでいろいろ話を聞いていましたから、ハーネスの胸のところに付けているパラシュートのグリップをつかんでみたりしていました。しかし、自分がパラシュートを開くことになるとは思っていませんでした。

現実に自分がそんな状況に陥り、けっこう冷静に対処できたのは、練習こそしていませんでしたが、パラシュートについてさまざまなことを聞いていたからでしょう。フライヤーにとって、「知識」は非常に大切です。当時もっと多くの知識を持っていれば、そもそもベースパーから手を離してしまうこともなかったでしょう。

開いたパラシュートは、実はリバックしたことがありませんでした。グリップをつかんで引っ張ろうとしたら、ベルクロテープがしっかりつきすぎていて、一度目はコンテナをあけることができず、二度目に必死の力で引っ張って投げることができたのです。もし力の弱い人だったら、パラシュートを投げられずに終わるかもしれません。私の場合は幸運が重なったと思います。

事故以来、もちろんきちんとリバックしています。誰もが自分は使わないと思っているパラシュートですが、誰もが開傘する可能性を持っているのです。教員の皆さん、日頃からパラシュートに限らず、安全に関する指導をもっとしてください。

飛ぶ度の練習が私を救った。

機体：ハングライダー

月日：2000年5月3日

場所：福岡県耳納連山エリア

フライヤー：HG歴21年の男性

状況：フライヤー談

当日はいい上がりでした。1時間ぐらい調子よく飛んだ後、センタリングの途中でノーズがガクンと下がってタッキングに入ってしまった。対地高度は約800mでした(落下しながら山側に流されたので着地したのは約600m下の場所)。なんとか機体をたて直そうとしたのですが、左急旋回が続き、一向に直る気配がありません。5回から8回ぐらいまわったところで、これはダメだと判断して、レスキューパラシュートを投げました。(リーディングエッジのパイプが折れていたことが接地してからわかりました。)

私のパラシュートは、ハーネスの右側面に付いているので、右手でグリップをつかみ機体にあたらぬよう右後方に投げたのですが、旋回が激しすぎて開いたかどうか目で確認することができませんでした。開傘のショックも感じなかったのが、確信の

ないまま「たぶん開いてるんだらうな」と思いながら、凄まじい勢いでグルグルまわって落ちていきました。仲間が無線で「開いているよ」と言ってくれて、はじめて開傘しているのがわかったのです。

落下速度はゆっくりといてもいいくらいで、接地する(木にひっかかる)まで、2~3分かかったと思います。「ずいぶん長いこと落ちていたね」と後で仲間が言ったほどです。しかし旋回のスピードは速くて、100回以上まわったような気がします。あんまり凄まじい勢いでまわるので、ブライダルコードが抜け、せっかく開いたパラシュートまで萎んでしまうのが心配でした。こんな時に傘体が萎まないようにする「縫戻し金具」というものがあることは、後で知ったのです。

幸い、最後には機体の旋回が少し緩くなり、パラシュートが開いているうちに木にひっかかりました。高さ8メートルほどの木でしたが、両翼を木が支えてくれて、人間は障害物のない空間にぶら下がる形になったので、怪我もせずラッキーでした。これが木のない平地だったら、無傷では済まなかったでしょう。また、仲間が上空を飛びながら私の落下地点を確認し、他の仲間が無線で回収ルートを指示してくれたおかげで、スムーズに救助してもらうことができました。

無事だったことがわかって、とにかく大丈夫だと仲間と連絡しようと思いました。しかし、機体に取付けた無線機に手が届かず「これは困った」と。そこで、胸ポケットに携帯電話を入れていたのを思い出して、ホッとしながら、連絡をとりました。今思えば何から何までラッキーでした。

これが私の初めての開傘体験ですが、パラシュートを投げるかどうかという時にもけっこう落ち着いていました。投げようと決めてからも慌てずに済んだのは、グリップを握る練習のおかげもあったと思います。

この練習は、テイクオフして初速が付きスタ沈の心配がなくなったら必ずします。100回テイクオフしたら、100回パラシュートのグリップを握って、その感覚を確かめるのです。また、リバックする前には地上で実際にパラシュートを投げる練習をします。1秒も無駄にできない緊急時には、意識しなくてもサッとグリップを握れるかどうかというのは、非常に重要なことでしょう。

また、もちろんリバックも大切です。私は自分でもリバックできますが、梅雨明けと10月(本格的シーズンの前)年に2回専門家に頼んでいます。たまたまこの事故の4~5ヵ月前にもリバックしていました。「もう何年かリバックしていない」という人もいますが、いざという時に速やかに開傘できるかどうか、疑問です。

JHF登録スクール一覧

今春、新しいスクール登録制度が始まった。従来のスクール情報登録から一歩進んで、スクール活動をもっと積極的にサポートしようというもの。詳細は次号でお知らせする予定だが、今回は7月末の登録校を紹介しよう。空の仲間を増やすために役立ててほしい。 MHG・MPGは動力付です。

登録番号	スクール名	住所	TEL	FAX	URL	HG	PG	MHG	MPG
1	アークパラグライダースクール	(〒669-5365) 兵庫県城崎郡日高町10313	0796-44-0088	0796-44-0171	http://www3.ocn.ne.jp/ arcpa/				
2	スカイパーク宇都宮パラグライダースクール	(〒321-0341) 栃木県宇都宮市古賀志町1800	028-652-6503	028-652-6503	http://www.alles.or.jp/ skypark/				
3	SET尾神	(〒949-3552) 新潟県中頸城郡吉川町尾神	0255-47-2066	0255-47-2066	http://www.valley.ne.jp/ n-tanaka/				
4	いわきパラグライダースクール	(〒972-8326) 福島県いわき市常磐藤原町湯の岳24-1	0246-44-3337	0246-44-3337					
5	KPS富士見高原パラグライダースクール	(〒399-0211) 長野県諏訪郡富士見町富士1510-1 浅野ハイソ201	0266-62-4909	0266-62-4909	http://www.kids-sports.co.jp				
6	クロスフィールドパラグライダースクール	(〒669-5371) 兵庫県城崎郡日高町太田158-70	0796-45-1390	0796-45-1396	http://www.inaker.or.jp/ cf/				
7	さのう高原パラグライダースクール	(〒679-3453) 兵庫県朝来郡朝来町さのう高原	0796-77-0063	0796-77-1110	http://village.infoweb.ne.jp/ sanougs/				
8	パーズアイビュー ハンググライダースクール	(〒511-0862) 三重県桑名市権庭3094	0594-24-2907	0594-24-2907	http://www.sun-net.or.jp/ tales/Hang/index.htm				
9	KPS那須高原パラグライダースクール	(〒325-0026) 栃木県黒磯市上厚崎450-47 スカイラーク 2 101	0287-62-4232	0287-62-4232	http://www.kids-sports.co.jp				
10	スカイライトPGスクール	(〒889-1701) 宮崎県宮崎郡田野町甲2583 JR田野駅構内	0985-86-0288	0985-86-0298	http://www.face.ne.jp/skiyilight/				
11	蔵王坊平パラグライダースクール	(〒999-3113) 山形県上市市蔵王坊平高原 石井ペンション内	023-679-2772	023-679-2772	http://www3.mabase.or.jp/ pishii/				
12	オニコウベパラグライダースクール	(〒989-6941) 宮城県玉造郡鳴子町鬼首字小向原9-27	0229-86-2434	0229-86-2356	http://www.ijnet.or.jp/HDS/sanmo/				
13	NCおおさパラグライダースクール	(〒719-3503) 岡山県阿哲郡大佐町小阪部2240-1	0867-98-3400	0867-98-3120	http://ww1.tiki.ne.jp/ set/				
14	しらさわパラグライダースクール	(〒378-0126) 群馬県利根郡白沢村上吉盛父9-1	0278-20-9006	0278-20-9006	http://www.best-sp.com				
15	忍野スカイスports倶楽部	(〒401-0512) 山梨県南都留郡忍野村内野2661	0555-84-7561	0555-84-7561	http://www.interq.or.jp/saturn/victory/				
16	白馬トップPGスクール	(〒399-9301) 長野県北安曇郡白馬村3020	0261-72-5061	0261-72-5947					
17	エコパレーグリングラスPGスクール	(〒386-0601) 長野県小県郡長門町坂平	0268-69-2002	0268-69-2005	http://www.undermatt.co.jp				
18	スカイスportsツツパラグライダースクール	(〒004-0011) 北海道札幌市厚別区もみじ台東1丁目2-E-104	011-898-1415	011-898-1415	http://www.netfarm.ne.jp/ moriya/				
19	グランドパラグライダースクール	(〒379-1305) 群馬県利根郡月夜野町後閑1739-1	0278-62-1274	0278-62-1275	http://www.grand-volee.co.jp/				
20	東海ハンググライダースクール	(〒503-2429) 岐阜県揖斐郡池田町藤代985-1 HGショップズーム内	0585-45-9214	0585-45-9214	http://www.ogaki-tv.ne.jp/ zoom				
21	今井浜高原フライングスクール	(〒413-0503) 静岡県賀茂郡河津町見高2297-15	0558-34-0708	0558-34-0708	http://www.w2.odn.ne.jp/imaihama-fs/				
22	エアパークCOO	(〒315-0157) 茨城県新治郡八郷町上曾1698-1	0299-44-1408	0299-44-1408	http://homepage1.nifty.com/airparkcoo/				
23	つくばパラグライダースクール	(〒300-4213) 茨城県つくば市平沢1041	0298-67-4031	0298-67-4031					
24	木島平パラグライダースクール	(〒389-2303) 長野県下高井郡木島平村 木島平スキー場内	0269-82-4100	0269-82-4100					
25	ツツパラグライダーシステムパラグライダースクール	(〒999-2221) 山形県南陽市桐葉1502-3	0238-40-2149	0238-40-2149					
26	王子が岳パラグライダースクール	(〒700-0941) 岡山県岡山市青江5-17-11-404	086-226-1269	086-226-1269					
27	ウインドスポーツHGスクール	(〒315-0101) 茨城県新治郡八郷町大増280	0299-44-3725	0299-43-2071	http://www02.so-net.ne.jp/ windhgs/index.htm				
28	阪神スカイスportsパラグライダースクール	(〒629-2423) 京都府与謝郡加悦町と赤石9-222	0772-42-3156	0772-72-0954	http://www2.nkansai.ne.jp/shop/hanshingp/				
29	スカイエンジェル	(〒299-1135) 千葉県君津市杉谷23-7	0439-55-1123	0439-55-1123	http://www1.plala.or.jp/Skyangel/				
30	大ヶ山パラグライダー教室	(〒706-0313) 岡山県玉野市西田井地2074番地	0863-41-2293	0863-41-2293					
31	TAKIパラグライダースクール	(〒669-3831) 兵庫県水上郡青垣町市原771-1	0795-87-0501	0795-87-0579	http://www.tak.ne.jp				
32	ゼロパラグライダースクール	(〒563-0043) 大阪府池田市神田4-14-2	0727-53-8890	0727-53-8830	http://www.zero-para.co.jp				
33	讃岐パラグライダースクール	(〒761-8041) 香川県高松市権紙町1619-1	087-886-7397	087-886-7397					
34	パーズパラグライダースクール	(〒606-8257) 京都府京都市左京区北白川西伊織町	075-702-0665	075-702-0665	http://web.kyoto-net.or.jp/people/birds/				
35	ロコスカイスports	(〒491-0015) 愛知県一宮市大赤見八幡西3番地	0586-73-0854	0586-73-4665					
36	軽井沢スカイパーク	(〒377-1615) 群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原1053	0279-86-5180	0279-86-5180	http://www.aco.co.jp/windybell/				
37	ジオスポーツパラグライダースクール	(〒 -) 長野県須坂市峰の原高根枝道14番 ジオスポーツ	0268-74-3547	0268-74-3547	http://www.geosports.co.jp				
38	クラブ	(〒742-0021) 山口県柳井市宮野1915-24	0820-22-5764	0820-22-5767					
39	JRパラグライダースクール紀ノ川UPパラグライダースクール	(〒649-6413) 和歌山県那賀郡打田町竹筒391	0736-77-7088	0736-77-5492					
40	JMBJLスツパラグライダースクール	(〒004-0031) 北海道札幌市厚別区上野幌一条3丁目9-5 パラグライダー-北海道	011-892-6822	011-893-2465	http://www.mmjp.or.jp/jmb-rusutsu/				
41	ジェネスパラグライダースクール	(〒336-0017) 埼玉県浦和市南浦和3-33-14	048-882-2730	048-882-2517	http://genese.co.jp/				
42	登谷山パラグライダースクール	(〒360-0036) 埼玉県熊谷市桜木町1-8	048-523-0646	048-527-3279					
43	宮崎スカイスports	(〒882-0033) 宮崎県延岡市川原崎町165-3	0982-51-5570						
44	SETウインドラブ吉松パラグライダースクール	(〒899-6102) 鹿児島県姶良郡吉松町中津川1418-1	0995-75-2755	0995-75-2757	http://www1.ocn.ne.jp/ windlove/				
45	有限会社スカイトライ	(〒444-0004) 愛知県岡崎市保母町三反田19番地1	0564-47-3239	0564-47-3249					
46	津軽岩木フライングスクール	(〒036-8227) 青森県弘前市栢根野5丁目6-12	090-2028-1306	0172-37-6768	http://www.rnac.ne.jp/ birdman				
47	FIELD-KIDS付知パラグライダースクール	(〒470-2105) 愛知県知多郡東浦町藤江字敷101-1	0562-83-3659	0562-83-8843	http://www09.u-pageso.net.ne.jp/cj8/t-kids/				
48	タートルズパラグライダースクール	(〒733-0815) 広島県広島市西区己斐上5-43-1 ビューハイツ己斐上105号	082-274-4112	082-274-4112					
49	ホワイテラスパラグライダースクール	(〒989-0916) 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上ノ原168-84	0224-34-3783	0224-34-2586	http://homepage1.nifty.com/para-school/				
50	JMB白馬パラグライダースクール	(〒399-9301) 長野県北安曇郡白馬村北城14718-167	0261-72-7470	0261-72-7470	http://www.janis.or.jp/users/kfunada/school/				
51	中田パラグライダースクール	(〒462-0823) 愛知県名古屋北区	052-911-0537	052-981-4321	http://www.chunichinet/				
52	スカイトレックパラグライダースクール	(〒769-0103) 香川県綾歌郡国分寺町福家216-7	087-874-2902	087-874-2902	http://www.skytrek.org				
53	三ノ倉パラグライダースクール	(〒966-0103) 福島県耶麻郡熱塩加納村加納五目山16-2	0241-36-3363	0241-36-3363					
54	小谷パラグライダースクール	(〒399-9422) 長野県北安曇郡小谷村白馬乗鞍4169	0261-82-2566	0261-82-2779	http://www.valley.ne.jp/ seisadao/otaripgs/				
55	SPLパラグライダースクール	(〒521-0312) 滋賀県坂田郡伊吹町上野1855 伊吹高原荘内	0749-58-2020	0749-58-2019	http://www.biwane.jp/ splpara/splhp/spl.html				
56	とらみ野パラグライダースクール	(〒939-1824) 富山県東礪波郡城端町大堀屋125	0763-62-4133	0763-62-4133					
57	影の国こまちパラグライダースクール	(〒355-0366) 埼玉県比企郡幾野村大野勝負平	0493-67-1788	0493-67-1787	http://www.intio.or.jp/komachi/				
58	新治こまちパラグライダースクール	(〒300-4108) 茨城県新治郡新治村小野126-7	0298-62-5355	0298-62-5358	http://www.intio.or.jp/komachi/				
59	ワイツパラグライダークラブ	(〒378-0414) 群馬県利根郡片品村丸沼高原 Pワルツ内	0278-58-3990	0278-58-3834	http://www.pension.or.jp/ marunuma/walt.html				
60	ブルースカイ	(〒900-0003) 沖縄県那覇市安謝215	098-862-3536	098-869-9117					
61	HGスクール(スポーツオートバイトパラグライダースクール)	(〒315-0101) 茨城県新治郡八郷町大増1900	0299-44-3642	0299-44-3939	http://www.opa.co.jp/				
62	Opa PGスクール(スポーツオートバイトパラグライダースクール)	(〒315-0101) 茨城県新治郡八郷町大増1900	0299-44-3642	0299-44-3939	http://www.opa.co.jp/				
63	ロールアウトパラグライダースクール	(〒669-3811) 兵庫県水上郡青垣町佐23-1	0795-87-1825	0798-947-1743	http://www5.big.or.jp/ rollout/				
64	会津高原パラグライダースクール	(〒967-0322) 福島県南会津郡舘岩村精倉114-2	0241-78-5066	0241-78-5010					
65	泉ヶ岳PGスクール	(〒981-8002) 宮城県仙台市泉区南光台南三丁目18-22	022-251-8313	022-251-8313					
66	スカイトリアル	(〒325-0001) 栃木県那須郡那須町高久甲943-19	0287-64-4779	0287-64-4779	http://www2.newweb.ne.jp/wd/skytrial/				
67	上越パラグライダースクール	(〒949-6366) 新潟県南魚沼郡塩沢町君沢1673-26	0257-83-3802	0257-83-3885	http://www.b-and-w.co.jp				
68	JMB富士見パノラマパラグライダースクール	(〒399-0211) 長野県諏訪郡富士見町富士見6666-717	0266-62-7691	0266-62-7691	http://www.windhop.com				
69	つばさ倉敷パラグライダースクール	(〒712-8061) 岡山県倉敷市神田4-1-10	086-444-2324	086-444-2324	http://www.d1.dion.ne.jp/ topwing/				
70	黒姫高原AFCパラグライダースクール	(〒949-2218) 新潟県中頸城郡妙高村花房80	0255-82-3532	0255-82-3532					
71	UP JAPANパラグライダースクール	(〒669-5371) 兵庫県城崎郡日高町太田159-10	0796-45-0598	0796-44-1185	http://www.inaker.or.jp/ upjapan/				
72	トントンとんび	(〒999-3233) 山形県上市市三本松126-19	023-672-6206	023-672-6219					
73	ディクロスパラグライダースクール	(〒911-0000) 福井県勝山市170-70スキージャム勝山レンタルプラザ2階	0779-87-6311	0779-87-6311					
74	Y.S.C箱根パラグライダースクール	(〒250-0521) 神奈川県足柄下郡箱根町箱根381	0460-3-6958	0460-3-5391	http://plaza9.mbn.or.jp/ familyk/ysc/				
75	七時雨パラグライダースクール	(〒028-7515) 岩手県二戸郡安代町古屋敷96	0195-72-2103	0195-72-2103					
76	ESD PGスクール	(〒791-8043) 愛媛県松山市東垣生町810 ウィンドバールESD	089-971-3190	089-971-3731	http://www.rene.com/para				

県連だより



五竜エリアのテイクオフポイント。

長野県ハング・パラグライディング連盟 2000~3000m級の山々が待っている。 理事長 呉本 吉植

長野県のエリア

こんにちは。長野県ハング・パラグライディング連盟(以下NHPF)です。長野県は皆さんの知っているとおり海がなく、代わりに標高2000~3000m級の山がごろごろしています。このためスキー場が多く、パラグライディングエリアも多く存在しています。現在の県連登録スクールは18校、1999年度の登録人数は98人です。

以下に登録スクールを紹介します。

- 北信地区
- ・木島平PGスクール
- ・竜王PGスクール
- ・JMBエアボーンPGスクール
- ・HG・PGスクール フリーク
- 白馬地区
- ・梅池PGスクール
- ・E L 'S PGスクール
- ・パラトピアGORYU PGスクール
- ・小谷PGスクール
- ・JMB白馬PGスクール
- 中信地区
- ・JMB富士見パノラマPGスクール
- ・キッズスポーツPGスクール
- ・エコパレーPGスクール



生坂エリアのテイクオフポイントから。

- ・車山HG・PGスクール
 - ・スカイウェイPGスクール
 - ・アルプスウイングPGスクール
 - 南信地区
 - ・SET南信州PGスクール
 - ・JMB中部PGスクール
 - ・レインボーいなPGスクール
- 各スクールの間合せ先はJHFへお問合せください。

自分のペースにあわせて参加できる競技NHPFの活動として、7月から10月にかけて行っている「SKYRALLY NAGANO」を紹介します。

SKYRALLYとは県内の数箇所(2000年は5箇所)のエリアでそれぞれタスクを設定。参加者は期間中にタスクに挑戦し、各エリアでの成績および総合成績を競うものです。

タスクを回るのは期間中なら何度でも可能で、その中の得点のよいものが採用されます。普段のフライトに飽きてきた人、パラグライダーの競技に興味がある人、フライトに目的を持ちたい人など、参加の意義は人それぞれ。参加申込をしてゼッケンを受



小谷(白馬乗鞍)エリアのランディング場。

け取れば、後は自分のペースでタスクにチャレンジ。

スカイラリーの参加要項は以下のとおりです。

期間:7月1日~11月5日のエリアオープン期間

参加資格:JHFフライヤー登録が有効でNPまたはP証取得者(エリアルール優先)

開催エリア

- ・富士見パノラマ (JMB富士見パノラマPGS)
- ・高嶺山 (JMB中部PGS)
- ・生坂スカイスポーツ公園
- ・白馬パラトピアGORYU (パラトピアGORYU PGS)
- ・白馬乗鞍・コルチナ (小谷PGS/JMB白馬PGS)

の5箇所です。

得点:使用グライダーによるハンディキャップ制

参加費用:一般¥3,500

県連会員¥3,000

各会場でのフィルム審査、成績登録料 ¥500

賞典:各会場1位および総合1~3位、女子1位には賞金が、各会場2、3位および総合4から6位には豪華賞品が用意されています。

詳細のお問合せは大会事務局へ。

NHPFスカイラリー事務局(エンドレスグループCORP内)

TEL.0261-72-6022(FAX兼用)

長野県連盟への連絡先

TEL.0261-72-7470

[事務局長 井川 延仁]

県連ニュース

宮城県ハンググライディング連盟
[新理事の担当と主だった年間事業計画]
前号でお知らせした理事の担当が決まりました。

理事長 小野寺幸則
副理事長 尾形梅三郎 今井 政秀
専門委員会担当理事

教習委員会 尾形梅三郎
安全対策委員会 三品 隆
競技委員会 川越 敏明
会計担当 小川 健一
無料体験担当 高橋 健一
広報担当 今井 政秀
監査役(監事) 近藤 泰洋
音羽 隆宏
委託監事 事務 倉津 昌俊
広報 岩松 正明
会計 飯塚とみ子

主だった年間事業計画です。
《無料体験講習会》の実施

9月15日(敬老の日)に国営みちのく湖畔公園にて行います。

大会日程

10月 オニコウベカップP.G大会

11月 うまっこ山P.G大会

未定 宮城県選手権大会

[記:今井政秀]

東京都ハング・パラグライディング連盟
[2000年度定期総会の報告]

5月17日に開催した2000年度の定期総会は出席者18名、委任状30人分で定足数をクリア、成立しました。

総会の議題は1999年度の事業報告、会計報告、2000年度事業計画、予算計画、連盟規約改定などでしたが、いずれも賛成多数で原案を可決しました。詳しい内容はホームページに掲載します。議論は午後9時の閉会まで熱心に行われました。

[記:宮川一郎]

愛知県フライヤー連盟
[愛知県連盟総会の報告]

5月28日、第6回通常総会を岐阜県木曾川町総合福祉体育館で開催しました。事業報告と収支決算の承認、事業計画と収支予算の決定、任期満了に伴う役員を選任などを行いました。新会長は森行雄氏に決定。総会終了後、平成11年度エキスぺディエンスコンペ表彰式。総合1位は阿知波広和氏でした。

午後からは、普通救急救命講習会を、木曾川町消防本部の皆さんのご協力により開催。全員が熱のいった講習で終了証を手にしました。その後、レスキューパラシュートリバック講習会を開催。大勢の参加者も満足して帰りました。 [記:山口貫太郎]

兵庫県フライヤー連盟

[イベントと県連大会のお知らせ]

8月26日午前10時より、兵庫県但馬空港フェスティバルでモーターグライダーデモ飛行に参加します。みなさん、ぜひお越しください。

2000年10月21・22日に当連盟主催による第3回兵庫県スカイフェスティバルを兵庫県のエリアの中心にある鉢伏山周辺エリアにおいて実施します。お問い合わせはウエストジャパン町田 TEL.0796-67-7263まで。

[記:西谷 尚]

岡山県ハンググライディング連盟

[フライトフェスティバルにご参加を]

11月5日に大佐山エリアで、県連行事として「岡山県フライトフェスティバル」を開催します。県内フライヤーの親睦を深めることが目的の楽しいお祭りに、ぜひご参加ください。また、運営を手伝ってくださる方を募集中です。

いよいよ県連ホームページ開設の運びとなりました。現在、県連で把握している県内のハング・バラのホームページは、大佐山と王子が岳です。この二つに県連ホームページもリンクさせる予定。他にあればお知らせください。

岡山県連事務局 おおさネイチャークラブ内 TEL.0867-98-3400 FAX.0867-98-3120 担当:関口泰生 [記:沼田敦子]

徳島県ハンググライディング連盟

[阿波踊りの町へのお誘い]

8月は、徳島では阿波踊りの季節。この時期(お盆時期)には相当の数の観光客が来訪、深夜遅くまで騒ぐ声が町中に響き渡ります。それと前後してハンググライダーやパラグライダーの草大会も開催され盛り上がり。秋には、四国三郎大会(JリーグとF-1共催)も催されます。この時期に一度皆さんも徳島を訪れてみてはどうでしょう。徳島のフライヤーそろってお待ちしております。

[記:筑木浩市郎]

福岡県ハング・パラグライディング連盟

[クリーンアップ九州の報告とお知らせ]

毎年6月上旬に「クリーンアップ九州」と称して九州の海岸、山、河川の一斉クリーンアップ大作戦が行われています。福岡県連では、この作戦に毎年参加しています。今年も6月11日に県内各エリアを中心に一斉清掃を行いました。エリアの清掃は定期的に行っていますが、他のボランティア団体と協力して清掃することは大変意味のあることだと思っています。

火山エリアのランチャー台が増設されました。以前はかなりプレッシャーがあったのですがテイクオフし易くなりました。また、8月19日・20日にはこのエリアで福岡県連主催の大会が開催される予定です。

[記:越智善治]



クリーンアップ九州の「成果」を前に参加者一同。



火山エリアのランチャー台がこんなに広がった!

宮崎県ハング・パラグライディング連盟
[九州山飛びクラブの紹介]

宮崎県連に新しく誕生した「九州山飛びクラブ」を紹介します。クラブの特徴は、機体を担いで山を登り山頂からの安全な飛びを楽しむフライヤーの集まりです。登山を楽しみながら体力をつけ、自然を味わい、頂上からの快適フライトを楽しんでいます。これまでに、霧島高千穂の峰(1574m)、韓国岳(1700m)大分久住山(1787m)のフライトを楽しみました。皆様、よろしくお願ひします。連絡先 会長:那須一男 TEL.090-8227-2089 [記:金丸直美]



技能証は申請者に送ります

現在、各技能証は事務局から申請者の自宅に郵送しています。以前は、一括送付を希望するスクールには、そのスクールを通じて申請を行った人の技能証をまとめて送っていました。しかし、技能証の発行システムが新しくなり、申請者個人への発送が能率

よくできるようになった反面、スクールへの一括送付はたいへん手間のかかる作業になりました。また、技能証はあくまでも個人のものであることから、申請者に直接送っています。教員から技能証を手渡し合格とともに祝い励ましたいという声もありますが、ご理解ください。

委員会の動き

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

新しい競技委員会がスタートしました。委員長は大澤豊、副委員長に外村仁克、委員は板垣直樹、花岡司、波多野康雄です。新メンバーも加わって、リジットウイング(クラス2)のルール作り等を進め、よりおもしろい競技を提案していこうと思っています。これからの2年間よろしくお願いします。

8月12日～15日開催の「2000年HG阿波踊りスカイオープン」の結果をホームページに掲載しています。今後の開催予定大会は、8月22日～25日の「NASA Student Cup 2000」、9月15日～17日の「ハンググライダー奥羽ラリー選手権2000」です。10月には「デザートパードマンカップ」、11月には「KOKAWA CUP 2000」も予定されています。どしどし参加してください。詳細はホームページに掲載しています。

残念ながら2001年度日本選手権開催地の立候補がまだありません。開催をご検討の方は、早急に届け出をお願いします。

ご希望の方に、競技委員会インフォメーションをメール送信しています。委員会事務局にEメールで申し込んでください。

HG競技委員会事務局

FAX.0299-44-1346

E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp

http://tomato.saino.ne.jp/haku/JHF-HG.html

教習検定委員会 委員長 小野寺 久恵

今年度のJHF教員研修検定会を以下のように行うことが決まりました。

期間:2000年11月14日～18日

場所:茨城県石岡市「法政大学石岡体育施設」、茨城県新治部八郷町「エアパークCoo」、「NASAフライトエリア」

対象者:1999年12月31日以前にJHFハンググライディングまたはパラグライディング助教員技能証の交付を受けた者で、JHF技能証規程に定める教員技能証の申請資格要件を2000年12月31日までに満たすことが明らか

な者。

受付期限:2000年9月11日まで参加申し込みを受け付ける。

参加費:20,000円(宿泊費等は別)

今回は前回と異なり、研修と飛行実技・教習実技・学科の各検定のすべてをこの5日間で行う予定です。すでに教員検定のどれかに合格している方にも、すべての研修を受けてもらいます。

11月14日から3日間、同じ場所で教員更新講習会をあわせて行います。この講習会は、すでに活動している教員に最新の技術と知識を得てもらうため、初めて実施するものです。参加しなくても更新できますが、安全教習のためぜひご参加を。参加費無料。

尚、教員研修と教員更新研修、どちらも助教員技能証を持っている人なら参加できます。詳しくはJHF事務局まで。

補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

委員会というかたがた苦しい場所と思う事でしょうが、補助動力委員会はアットホームすぎる委員会です。思う事が素直に発言でき、そして実行に移せ、フライヤーの皆さんに還元できる、そんな委員会でありたいと考えています。

以下、本年度富山県の黒部市と入善町で開催する補助動力付パラグライディング日本選手権のPRです。立山連峰と日本アルプスをバックに富山湾をのぞむ広大な風景と、アルプスの美味しい伏流水に育まれた扇状地をベースとして、今までにないタスクを可能としたエリアです。これほど恵まれたエリアは今までにないというのが実感です。テイクオフは全面芝地で、周りには乱流を起こすものは何もありません。3km離れた牧場の斜面は、富山湾から吹く穏やかな風と共に心地よい斜面上昇風と素晴らしいサ・マルをもたらしてくれる事でしょう。

日本選手権は10月21日(土)・22日(日)の両日、富山県黒部市の黒部川河川敷芝公園で行います。皆さんの参加と観戦をお待ちしています。

制度委員会 委員長 小林 秀彰

本年度も継続して制度委員会に任命されました福岡県連の小林と岡山県連の沼田です。2年間よろしくお願いします。

制度委員会としては残念なことに、応募者が少なく、2名で当分委員会活動を行うことになりました。委員の募集は継続していますので、JHFのために一肌脱ごうという方はぜひ応募してください。

本年度の委員会活動の主な目的のひとつに昨年度から携わってきました規程集(正式名称はJHF制度総覧)の拡充があります。6月の総会でやっと配布できましたが、まだ完全なものではありません。今後は他の委員会との連携を取りながら、競技規程などの未掲載の規程などを追加し、より使いやすい制度総覧に仕上げたいと考えています。

また、理事会からの新たな諮問事項として「JHF公認基準」があります。JHF公認の対象には競技、イベント、書籍類、電子メディア類などが考えられ、これらも他の委員会と協議しながら基準作りを行いたいと考えています。

安全性委員会

7月理事会で新生安全性委員会の委員が以下のように決まりました。あと1名を追加募集していますので、我こそと思う方、JHF事務局にご連絡ください。

新委員

島野広幸、城涼一、後藤望、野口恵仁、西本一弘

選挙管理委員会

6月総会で「役員選挙並びに選挙管理委員会に関する規約」の制定が決まり、選挙管理委員が以下のように選任されました。

新委員

宮野周三(委員長) 泉秀樹、内田孝也、西ヶ谷一志

安全性委員会(JHSC)より ハーネスのバックルを とめた後に必ずチェック!

フライヤーから安全性委員会に次のような要望があり、調査の結果、以下の見解を出しました。皆さん注意してください。

*

フライヤーから
パラグライダーのハーネスのレッグベ

ルトバックルが飛行中にしばしば外れる。原因を調べてほしい。

安全性委員会の見解

今回の事例は、バックルの破損ではなく、凸金具の差し込みが不完全な状態となり生じたものである。

すなわち、ベルトの長さを調整する金具(コキ)をずらした状態でオートマチックバックルに凸金具を差し込むと、たとえ固定が不完全であっても金具はカチッ

という音を発する。この音が、あたかも完全に差し込まれたかのような錯覚を与えてしまう。

その状態でしばらくフライトすると、不完全に差し込まれた凸金具が外れてしまうことになる。

従って、このような状況となるのを防ぐため、バックルをとめた後にベルトを引っ張ってチェックし、凸金具が確実に差し込まれ固定されているかどうかを確認する必要がある。

日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC)議事録

2000年度第2回委員会

日時:6月15日(木)13時30分～17時

場所:JHF事務局会議室

出席委員:斎藤紀、岡芳樹、幸路尚文

委任状:泉秀樹、下山進

型式登録審査

登録申請の提出なし。

定例委員会

・岡委員が朝霧高原で発生したパラグライディング死亡事故の現地聴取調査報告書を提出した。

*7月27日の理事会で、JHSCは常設委員会のひとつとして新たにスタートすることに決定。新委員

は島野広幸、城涼一、後藤望、野口恵仁、西本一弘の5名。あと1名を追加募集中。詳細はJHF事務局に問い合わせを。(編集註)

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

6月22日理事会

2000年6月22日(木)19時～21時 JHF事務局会議室 出席:川添喜郎・小林朋子・朝日和博・関谷暢人・横尾和彦・岩間雅彦・星野納・松田保子・松永文也各理事、宮川雅博監事 欠席:田中美由喜・渡邊敏久各理事、坂本三津也監事 議長:星野納

1999年度JHF会計決算案について審議

朝日より、前年度決算案(5月理事会で細部の変更を認めることを前提に承認した案の変更版)が提出され、これを6月23日のJHF通常総会に提案することを、賛成7で決定。

2000年度JHF収支補正予算案について審議

朝日より、今年度補正予算案(5月理事会で人件費増額等の修正を加え承認した案の修正版)が提出され、これを6月23日のJHF通常総会に提案することを、賛成5、反対1、棄権2で決定。

FAIカテゴリー2申請について

6月8日付の文書理事会において賛成9、棄権1で承認され、「2000高山ホルンパレーカップ(パラグライディング大会)」「2000パラグライディング日本選手権つば」をFAIカテゴリー2の大会として申請することになった。その結果について、賛成8で承認。

2000/2001年FAI航空スポーツ委員会及び技術委員会委員候補の指名について審議

FAI事務局より上記委員候補の指名依頼があった旨(財)日本航空協会から連絡があり、小林朋子(正)と田中美由喜(副)を日本代表委員として推薦することを、賛成7、反対1で決定。

JHF顧問弁護士について審議

現在、JHFは緊縮財政のため「顧問弁護士」がい

ない状態だが、諸事情から弁護士と契約する必要がある。川添から今年度は中野正人弁護士にお願いするという案が出され、賛成7、反対1で可決。

パラグライディングビデオの公認について

加藤文博氏制作のビデオをJHF公認としてほしいと同氏より依頼があったが、公認規程を作る必要があり、継続協議とした。

7月27日理事会

2000年7月27日(木)13時～17時30分 JHF事務局会議室 出席:川添喜郎・小林朋子・朝日和博・関谷暢人・横尾和彦・岩間雅彦・田中美由喜・星野納・松田保子各理事、宮川雅博監事 欠席:松永文也・渡邊敏久各理事、坂本三津也監事 議長:松田保子 (社)JHF安全性委員会規程案について審議

6月通常総会で「安全性委員会規約」の廃止が決まり、これを受けて川添から規程案が提出され、これを審議。規程名を「(社)JHF安全性委員会運営規程」とし、必要と思われる内容を加え不要部分を削除した修正案を、賛成7、棄権1で可決。なお、修正案の第1条(名称)内の略称をJHSCとするというところのみ別に採決し、賛成7、棄権1で、略称はJHSCに決定。

*この規程案は前もって正会員に送付され、4正会員(東京都、愛知県、愛媛県、福岡県)から回答があった。その意見は修正案(新規規程)に反映された。

(社)JHF安全性委員会委員の選任について

今理事会の先の決定から、安全性委員会運営規程に基づき、先候補者の中から5名を委員に選任した。定員は6名なのであと1名を追加募集することに決定。新委員は、島野広幸、城涼一、後藤望、野口

恵仁、西本一弘各氏。担当理事は星野。

平成12年度JHF教員研修検定会及び教員更新講習会について審議

教習検定委員会(担当理事:岩間)より、今年度の教員研修検定会と教員更新講習会の実施案が提出された。まず教員研修検定会について審議し、賛成7、棄権1で案を承認。次にJHF教員検定員証の交付申請について審議、委員会から申請された6名(教習検定委員)への交付を、賛成8で承認。続いて教員更新講習会について審議し、賛成8で案を承認。講習会の参加料は無料とすることに決定(無料に賛成5、2000円に賛成2、棄権1)。

補助動力委員会委員の選任について

補助動力委員会は委員が2名しかおらず追加募集をしていた。立候補者2名を新たに委員として選任。新委員は、鎌村実、村上優子各氏。鎌村氏が提出した立候補表明書は、所定の用紙ではなかったが、書類送付のトラブルがあったこと、必要事項が全部記載されていることから、全員一致でこれを正式なものとした。

大阪府フライヤー連盟からの要望書について

大阪府連盟から、技能証の送付、技能証申請方式、総会の議決権等についての要望書が提出された。次回理事会(9月12日の予定)で継続協議し、必要であれば優先して審議事項とする。

この「理事会ダイジェスト」は、理事会で話し合われたこと、決まったことのポイントをまとめたものです。議事録は正会員に送付されますので、必要な方は各正会員(都道府県連盟)にご連絡ください。

理 事 活 動 報 告

JHF理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしています。

5月下旬から7月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

会長 川添 喜郎

5月26日:東京地方裁判所より過去のパラグライダー事故に関する裁判の呼出状が届き、副会長・事務局長と協議。私が担当し理事会に相談しつつ対処することになりました。6月1日:JHF委員総会を開催。新委員に委嘱状を伝達。分科会では熱心な討議がなされました。2日:パート事務局員採用のため面接、応募者の多さに驚きました。8日:裁判の答弁書作成のため弁護士・関係者と打ち合わせ。12日:宮川・坂本両監事による99年度決算監査に立ち合い。常任理事会開催。21日:日本スカイレージャー振興協議会に出席。エアスポーツを団体競技種目にする推進委員会を設置する方針があり、特にハング・パラグライディングの可能性が高いということで委員候補に名乗りをあげました。23日:JHF総会、午前の意見交換会、夕方の懇談会と、総じて建設的な意見が出され、JHFのレベルアップが感じられました。7月7日:アジア選手権検討会を設置。11日:航空スポーツ団体連絡会に副会長と出席。FAIの報告・各団体の報告がなされました。JHFから「連絡会」をNACとしての「委員会」に昇格させるべきだと意見を出しました。12日:教習検定委員会にご挨拶。熱心な論議に脱帽。教員の質的向上のためにつけた予算に関して前向きに取り組んでいただけるようです。18日:副会長・事務局長と打ち合わせ。理事会議案の整理、来年度予算への取り組み、安全性委員会規程案への正会員等からの意

見集約などを行いました。

副会長 小林 朋子

7月11日、航空スポーツ連絡会出席。その他、6月から始まった新技能証の発行作業の整備、問い合わせへの対応、システム設計者・システム機材業者・印刷業者などとの打ち合わせを随時行いました。

常任理事 朝日 和博

1999年度の決算業務を終えたのち、監査を受けました。6月の総会では2000年度の補正予算をご承認いただきました。新年度よりフライヤー会員登録制度も本格的に始まり予算総額は一気に1.8倍に増加しました。予算フォームも新しくなりました。さらに、経理の担当者が柳沢さんに代わって前田さんというベテランの方になりました。業務引継ぎも終わり本格的に動き出しています。皆さんよろしくお願ひ致します。

常任理事 横尾 和彦

7月13日、スポーツ振興基金平成13年助成金申請(再提出)。

理事 岩間 雅彦

7月12日に今年度の第1回目の教習検定委員会が開かれ、今年度から教員検定会を、教員・助教員の更新研修会を兼ねる形で実施する方針が決定され、この方針に基づき具体的なプランを作成することになりました。委員会からの実施要項や日程についてのお知らせがこの号に載ると思います

(P10「委員会の動き」)また、対象となる教員・助教員の皆様にはお知らせが郵送される予定です。

ハング教本の作成は、イラストの準備のために遅れていましたが、その目処もある程度ついたので、秋頃には発刊にこぎつけたと考えています。イラスト下絵入りのC級課程の原稿を新たにホームページで公開しました(<http://www.imasy.or.jp/miwama/>)。A/B級課程はすでに公開済みです。ぜひご意見をお寄せください。今までにいただいたご意見も合わせて公開しています。

理事 松田 保子

6月16日、広報出版局の会議。5月末から局員として活動している日下部博さん・藤木美穂さん、オブザーバーの梅澤馨さん・松原正幸さんと、主にJHFレポートの内容について話し合い。皆さんの体験、目や耳にしたことから、JHFとしてどんな記事を掲載していくべきか考えながら、情報を伝えることの大切さをあらためて感じました。

フライヤー会員登録に更新しJHFレポートが送られてきて初めてレポートの存在を知ったという方から連絡がありました。これからは、今まで連盟活動から遠く離れていた人にも、JHFレポートがさまざまな情報を伝えられるようになります。いよいよ広報出版局の活動が重要になっていくことを、しっかり頭に刻み着実に歩んでいきたいと思ひます。

@sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。
いつでも心は空の彼方というあなた、必読!
もちろん寄稿も大歓迎。
「お題はなあに?」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、
JHFへの意見など、どしどし送ってください。
koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

正会員が羽田に集合、JHF6月通常総会終了。

6月23日(金)東京都羽田空港ターミナルビル [ビッグバード]において、JHF6月通常総会が開催され、全国47都道府県から39正会員(都道府県連盟の代表)が出席、委任状2で、第1号議案～第6号議案について採決された。

第1号議案:安全性委員会規約の廃止について 理事会で安全性委員会規程を決定するまで現規約が生きていることを条件に、賛成28、反対2、棄権10で規約廃止を決定。今後、安全性委員会(JHSC)は常設委員会のひとつとして活動する。

第2号議案:選挙管理委員会規約(案)の制定について 役員選挙並びに選挙管理委員会に関する規約案が理事会から出され、賛成37、反対

0、棄権3で規約制定を決定。
第3号議案:1999年度JHF事業報告の承認について 理事会からの報告を賛成39、反対0、棄権1で承認。

第4号議案:1999年度JHF収支決算報告の承認について 理事会からの報告を、賛成39、反対0、棄権1で承認。

第5号議案:2000年度JHF会計補正予算(案)の決定について 補正予算案が理事会から出され、賛成39、反対0、棄権1で補正予算を決定。事務局補強(人員増)のための人件費などが増額になった。

第6号議案:選挙管理委員の選任について 第2号議案で、役員選挙並びに選挙管理委員会に



賛成票をあげる正会員の代表者たち。

関する規約の制定が決まったため、総会で選挙管理委員を選任。新委員は泉秀樹、内田孝也、西ヶ谷一志、宮野周三。

総会の前、10時から12時30分まで、正会員希望者とJHF役員が出席して情報交換会が、また総会後には懇親会が開かれた。いろいろな話題が出たが、やはり一番の関心事はハング・パラグライディングをどのように普及させ振興していくかということだった。

拝啓、イントラ様、お元気ですか?

「あっ……」

お願いですから無線誘導中にPTT押したまま驚かないでください。

「何しに来たの?」

雨の日にエリアに行ってもいじめないでください。

「お前、行ってみろ」

強風の中、テイクオフを個人オープンするのはやめてください。

「ゆっくり……。そうそう……。まだまだ……。もうすこし……。そろそろ……。無線の占有率をもう少し下げてください。

ペンネーム:SQUARE

デジタル万歳

あれは僕が無線誘導生で、空にもだいが慣れ、景色を楽しめるようになった頃、それはやってきた。ランディング場からの無線誘導。「はい、そこで左180度」はい、次は右180度「おっと、ターンしすぎだ、左17度」……ええ!? 17度って? これくらいかな? 「んー、あともう5度」え、ええー!……わかるかっちゅうねん! ラジコンじゃないっつうねん! このイントラが恐れられる理由の一端を垣間見たフライトだった。

ペンネーム:アナログ万歳

美食家のインストラクター

ウチのイントラは異常に食べ物にこだわ

ります。私達は泊り込んで飛ぶ時などは皆で自炊をしますが、いつものようにスーパーの本日の奉仕品と、その辺に生えている草、キノコなどを適当に炒めた、野菜炒め風などを食べていると、「そんなものは料理ではない、下げる!」なんて言い出すんです。「美味しんぼ」片手に、舌平目のムニエルやビーフストロガノフなんて、想像でし

お題はなあに?

みんなでバラせば怖くない!!
秘密の大空体験を一挙公開。
今回のお題は「イントラにもの申す」だ!

か食べたこと無いのに、そんなもの作れません。せめてミスター味っ子にしたい欲しかった……。

ペンネーム:落武者

イントラ御用達のサングラス

僕が山飛びを始めたばかりの頃、テイクオフに居ながらソアリング誘導を上手にするイントラに聞いた事がある。「なんでサー

マルのある場所がわかるんですか?」「このサングラス、サーマルが見えるんだよ。」当然、冗談である。

ある日、僕は置き忘れられたそのサングラスをかけてみた。何と、そのサングラスはサーマルなんか見えず、何でも透けて見えてしまうものであった。あなたのスクールでサングラスをかけて女の子ばかり見ているイントラがいたら、一度チェックすることをお勧めする。

注:この話には10%フィクションが含まれています。

ペンネーム:あつはなついよ。

次回のお題は「飛んでいてドキっとした瞬間」

このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスも忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、ささやかなプレゼントあり!

Eメール:koho@jhf.skysports.or.jp
FAX.03-5840-8312

「JHFレポートお題はなあに係」まで、次回の原稿締切は9月14日です。なお、文章の主旨を変えずに編集させていただくことがあります。

パラグライダー

今昔物語

栗山 公秀

第三話 TRIAIR

懐かしのあの機体、忘れられないこの機体、 日本のパラグライディング史に名を残す翼、再登場。

今からおよそ5億3千万年前、地質時代分類と言うカンブリア期(三葉虫がいたころ)突如ありとあらゆる形態の生物が地球上に出現しました。

“カンブリア大爆発”進化の“実験場”と呼ばれるそれは、まるでどんな生物がこの世界で適応して生き残れるのかを試しているかの如く、さまざまな生物が生まれては消えていきました。

1988年から90年、空はまるでパラグライダーの実験場でした。さらなる性能の向上を目指して多種多様なパラグライダーが登場します。そんな中、89年にデビューしたスイスの名門Ailes de K(とここで皆さんエルドカってちゃんと読めました?僕は……)のトリエールには度肝を抜かれました。デザインはもちろん天才デザイナー、ローランド・カルベルマッテン氏。前作ジェネーも革新的(中央部以外のセルにエアインテークがなかった!)でしたが、トリエールはもっとすごい。後期のジェネーのクロズドセルに採用されたスリットエアインテークを何と全面に採用、そのため飛行中、エアインテークが全部閉じて、全く無くなってしまふんですから。

トリエールのエアインテークは、前縁に縦に切れ目(スリット)が入っているに過ぎません。もちろんライズアップ時は口を開きますが、飛行中は閉じてしまいます。コラップス等で翼が変形したら思い出したように口が開き

ます。

こんなエアインテークでも十分らしく、立ち上げは普通に行えたようです(傍目にはね。乗った事無いし仲間でもいなかったから)。エアインテークが無くなるのは逆流防止弁付きメッシュクロズがありましたが、トリエール式のほうが重量の点で有利そうです。その点で立ち上げが普通に行えたのかもかもしれません。

こんなエアインテーク、他メーカーで見たことありません。天才、ローランド・カルベルマッテン氏のアイデアは真似できなかったという所でしょうか。

過激なインテークのデザインに比べると、翼形は穏やかでした。当時主流になりつつあった楕円形(に近いテーパー翼)に反して矩形翼が採用されています。下半角は押えられ、翼端にジェネーと同じタイプのスタビライザーがつけます。エルドカ独特のカラーリングは当時の憧れでした。

某大会でいっしょに飛んで驚いたのは旋回性能のよさ。当時の僕の愛機アスリートではハイバンクかけてぐりぐりまわさなきゃならないところを、トリエールはフラットに効率よさげなセンターリングで上げていきます(それともこれは腕の差?)

これだけ特殊な形状のグライダーなのに多くのフライヤーに愛された機体でした。性能は当時トップクラスでしたから、大会でも多くの好成績を残しています。90年5月には池田



恵一氏が五竜から23kmのクロスカントリーに成功しています。

しかしこのスリットエアインテークも、結局トリエールを最後に跡絶えてしまいました。この技術もパラグライダーの進化の過程で消えていったバージェスモンスター(カンブリア大爆発を証明したバージェス断層にて発見された化石群。現在の生物と全く結び付かない生き物の化石が多数発見されている。)と言えるのかもかもしれません。でも……

現在ではある程度設計技術が確立し、どこのグライダーも皆同じようなデザインに落ち着いてしまっ、ちょっとだけつまらなく思っています。だから今後、こんな奇想天外な機体が出てこないのかと密かに期待していたりするので。

栗山公秀(くりやままさひで)

初フライトは1987年7月、それ以来バラにはまる。コンペにも参加していたが今は月1~2日程度のマンスリーフライヤー(とほほ)。ホームエリアはスカイパーク宇都宮。現在二児の父。

NEWS!

PG日本選手権、再び。

10月6日から9日まで茨城県新治郡八郷町のエアパークCooで、「2000パラグライディング日本選手権つくば」を再び開催する。4月12日から16日までの本番は気象条件に恵まれず、1日は74.2kmのゴールフライトができたにもかかわらず、日本選手権としては不成立。秋の予備日が最高のコンディションになることを祈ろう。

尚、この10月日本選手権もFAIカテゴリー2の大会として認められた。

富山県で補助動力付PG日本選手権。

4回目の「補助動力付パラグライディング日本選手権」を、10月21日・22日に、富山県の黒部市と下新川郡入善町で行う。立

山連峰、日本アルプス、富山湾……雄大な景色の中で、萩原光の三連覇なるか。誰が日本一の座を勝ち取るか、見届けに行こう。会場は、黒部川河川敷芝公園。

24回目の鳥人間コンテスト。

TVでおなじみの「鳥人間コンテスト選手権大会」が、今年も琵琶湖で開催された。

7月28日14時30分、背風の中で滑空機部門競技開始。悪条件にも負けず、出場6回目の練士研チャレンジチーム(東京都練馬区役所の土木技術職員のチーム)が205.43m、初出場のBLACK tulip(大阪工業大学航空部)が203.23mの好成績を出した。

29日は朝6時から人力プロペラ機部門の競技。無風に近いコンディションのためか、スタートで失敗する機体も多く、記録は伸び悩んだ。本命と目された日本大学機もバンク修正が遅れ94.96mの番狂わせ。東京大学機が1308.09mで逃げ切るかと思われたが、最後に大阪府立大学・堺・風車の会が7945.85mを記録し昨年に続き優勝し

た。ノルディックスキーの萩原次晴が乗る東工大機はみごとな飛行ぶりで好記録を予感させたが、翼が折損し380.44mに止まった。

11時に再び滑空機部門の競技に移る。4機飛んだところで4m/sほどの背風になり、12機目まで飛行して競技打ち切りになってしまった。優勝は256.53m飛んだ夜鳥の会。出場5回目、東京都の会社員の集まりだ。飛行できなかった選手の中には、福森啓太らベテランもあり、残念な結果となったが、来年の彼らの活躍に期待しよう。



優勝の大阪府立大学機。(撮影:矢ヶ崎弘志)

@sky

大会報告

第12回ゼロカップ (SPS)
2000年4月1日・2日
鳥取県八頭郡河原町霊石山フライトエリア

[総合]

1位	岡 孝充	神奈川県	1792点
2位	佐藤 隆宏	鳥取県	1687点
3位	佐々木真吾	愛知県	1608点
4位	真鍋 努	大阪府	1576点
5位	薬師寺 哲	愛知県	1439点
6位	三澤 稔	鳥取県	1254点
7位	岡本 菊雄	東京都	1252点
8位	矢野 孝史	大阪府	1236点

[女子]

1位	八子 文恵	愛知県	706点
2位	酒井 美貴	埼玉県	695点
3位	後藤 直美	愛知県	576点

第12回を迎えた本大会であるが、初めてSPS対象大会として開催された。若干強めの風をどう読むかが勝負の分かれ目となった。遅い時間にかけた選手は結局フライトできず。前半を戦った選手に軍配があがる。そして2日目は朝からややフォロー。風に悩まされる2日間となったが、4.6kmと5.3kmのタスクを無事終了し、霊石山初めてのSPS大会は終了した。 [記:宮浦博之]

サクラカップin南陽
2000年4月28日・29日
山形県南陽市南陽スカイパークエリア

大会初日、朝から小雨まじりで、次第に悪くなる予報だったので早々にキャンセル。そして迎えた2日目、朝のうちは曇っていたものの、次第に晴れ間が広がってゆき、大会もできそうな様子だったが、テイクオフの風が安全上よくないためキャンセルとし、フリーフライトに変え、今大会は幕を閉じた。 [記:佐藤信博]

2000年スカイフェスティバルin南陽
スプリングカップ

2000年4月30日・5月1日
山形県南陽市南陽スカイパークエリア

[総合]

1位	千坂 文男	東京都	1560点
2位	菅原 裕	山形県	1050点
3位	長田 修一	栃木県	760点
4位	川島 正法	福島県	669点
5位	黒川 洋一	神奈川県	570点
6位	西村 潔茂	栃木県	523点

[シニアクラス]

1位	戸田 光弥	福島県	668点
2位	仲野 勝明	栃木県	556点
3位	山田 研悦	宮城県	393点

今年で3回目となったスプリングカップ。昨年はエリアレコードが出てしまうほどコンディションが良かったが、今年は穏やかなコンディションだった。それでも大空を色とりどりのグライダーが舞い、華やかな幕開けとなった。2日目は少々渋いながらも上げていく選手が何名おり、その中でも生き残った選手が上位を占めていた。そし

て、シニアクラスの戸田さんが73歳ということを知り、驚きを隠せない選手もいた。

池田山スカイフェスティバル
2000年5月3日～5日
岐阜県揖斐郡池田町池田山フライトエリア

[総合]

1位	板垣 直樹	茨城県	1021点
2位	山本 滋	愛知県	870点
3位	井上 正行	愛知県	832点
4位	岩瀬 達夫	徳島県	686点
5位	山本 英和	愛知県	609点
6位	小林 正典	岐阜県	587点
6位	安藤 裕	兵庫県	587点
7位	鈴木 明武	愛知県	573点

[女子]

1位	酒井 夕子	東京都	
2位	長谷川節子	愛知県	
3位	亀谷 早苗	埼玉県	

大会初日、晴天をうけセットアップするがフォローに吹かれキャンセル。2日目、山沿いは少し荒れ模様の中、2選手のみがミニマムをクリアし、その後ほとんどの選手が苦しんだ中、沖に早々に出た2選手がゴールする。そして迎えた最終日。ソアラブルで、風は北のち南の予報。それを察知し、ゲートオープン直後にテイクオフした選手が好成績を残し、2選手がゴールする。結果的には、2日目ゴール、3日目好成績を残した板垣選手が優勝。キングポストレスが多いなか、5・6位に地元若手選手が入賞する実りある大会であった。 [記:山城知幸]

募 集

常設委員会委員

JHFは常設委員会(安全性委員会を含む)委員の任期満了にともない、今春、新委員を公募しましたが、制度委員会、補助動力委員会、安全性委員会は定員を満たしていません。そこで、この三委員会の委員を追加募集中です。それぞれ、ハング・パラグライディングの未来を創っていく、やり甲斐のある活動をしています。一緒にやってみようか...という方、ぜひご連絡ください。(募集は9月8日に一度締切ります。)

*6月のJHF通常総会において、安全性委員会規約が廃止になりました。これによって、7月理事会で「安全性委員会運営規程」を決定、8月1日から施行になりました。これまでと変わったのは、日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC)という名称が、(社)日本ハンググライディング連盟安全性委員会になったこと、常設委員会のひとつになったこと等です。同理事会で5名の委員が

選任され、これまでと同様に公正・中立な機関として、ハング・パラグライディングの安全性確保のための活動をしていきます。

教員研修検定会参加者

11月に今年度のJHF教員研修検定会を行います。教員をめざす助教員の方は、ぜひご参加ください。

期間:2000年11月14日～18日
場所:茨城県石岡市「法政大学石岡体育施設」,「茨城県新治郡八郷町「エアパークCoo」,「NASAフライトエリア」
対象者:1999年12月31日以前にJHFハンググライディングまたはパラグライディング助教員技能証の交付を受けた者で、JHF技能証規程に定める教員技能証の申請資格要件を2000年12月31日までに充たすことが明らかなる者

受付期限:2000年9月11日まで参加申し込みを受け付ける。

参加費:20,000円(宿泊費等は別)

今回は前回と異なり、研修と飛行実技・学習実技・学科の各検定のすべてをこの5日間で行う予定です。すでに教員検定のどれかに合格している方にも、すべての研修を受けていただきます。

上記の対象からはずれていても助教員技

能証を持つ方なら研修を受けられます。

教員更新講習会参加者

11月14日から3日間、前記の教員研修検定会と同じ場所で、教員更新講習会をあわせて行います。この講習会は、すでに活動している教員に最新の技術と知識を得てもらうため、初めて実施するものです。参加しなくても教員証は更新できますが、安全教習のためぜひご参加を。参加費無料(エリア使用料等は各自負担)。

更新を迎える教員以外の方でも、助教員技能証を持っていただければ参加できます。

上記募集についての問い合わせ・申し込み等は、JHF事務局まで。

TEL.03-5840-8311

FAX.03-5840-8312

Eメール:jhf@skysports.or.jp

求む！ JHFへの意見

JHFへの意見をJHFレポートに掲載します。あなたの胸の内を文章にしてお送りください。「JHFレポート意見箱係」まで。氏名、連絡先を明記してください。

FAX.03-5840-8312

Eメール:koho@jhf.skysports.or.jp

Air Fest 2000

6月19日から25日までトルコでパラグライディング学生大会が開かれた。ひとり鼻息荒く(?)乗り込んだ呉本選手のメダタシメダタシ報告。

そう、もうあれは遠き昔のお話。ある勇気ある若者が単身トルコへと乗り込んでいったお話です。彼の目的は金髪ねーちゃん.....もとい、ボアジシ大学主催の「Air Fest 2000」に出場し、(間違った)日本をあ



どこを見ても離着陸できそう。



トルコの学生選手たち。

ちらの大学生に教え込むことでした。この大会は国際大会で参加者は80人ちょっと、国は日本から1人、フランスから1人、残りはトルコ人と非常に国際色あふれるお祭りで1週間行われ、最初の3日間はイスタンブールにある大学内のセレモニーで、残り4日間は競技でありました。

最初の3日間は校内イベントとしてダンスショーや「SUMO」と呼ばれるレスリング大会などが催され、夜は船を貸し切ったの船上パーティーなどと洒落こんで内容盛り沢山! 若者は圧倒されつつも確実に自分の存在を不動のものにしていったのであります。イスタンブールの町並み、女性美しく、もーそれはいいところであったそう。

いよいよ4日目、イスタンブールから200km程離れたボルという、アルプスの少女ハイジがでできそうな場所に目指すエリアがありました。南向き750m、北向き450mの2ヵ所。750mのエリアは白馬の五竜エリアのテイクオフが永遠と続いているようなところで木がない.....。どこもかしこもテイクオフとランディングに見えてしまう、ああL/Dが1:1でもテイクオフか

らランディングまで駆け抜けることができそうです。450mのほうは日本語にでてくるような禿山が三つあるだけ。あとは果てしない牧草地。ああ、こんなところでいっつも飛んでるトルコの学生.....。ふう。

残念ながら競技中すべて北風で南向きエリアは飛べなかったけれど、馬の群れや牛の群れなど見ながら遥かな大地と澄み渡った異国の空を飛べて、若者は大変ご満悦な様子であったそう。何かテクオフに警察、救急車、軍隊までもがいつもいつも待機してるのがなんとなく気になるころではあったが、大会中でもまったくとした空気が漂い、ほんわかと時が流れていった。結局4日中1日しか大会は成立せず幕を閉じた。

最終日、閉会式が行われた。町の町長などなど色々集まって、またまたダンスパーティーが始まって、もう大騒ぎ!! 大会結果は惜しくも2位で終わったが、非常に楽しい大会であったそう。こうして若者は立派になって日本へと帰っていったそう。

[写真撮影&記:呉本圭樹]

6月・7月のパイロット証取得者 (敬称略 数字は認定日)

パラグライディング

- | | |
|------------|------------|
| 6.8 矢野 隆昭 | 6.26 高津 知明 |
| 6.8 浅見 正枝 | 6.26 岡田 清人 |
| 6.8 中嶋 達生 | 6.26 伊賀 章 |
| 6.8 米光 直人 | 6.28 児玉 宏範 |
| 6.8 小椋 光男 | 6.28 峯田登記子 |
| 6.8 安藤登志一 | 6.28 松島屋好美 |
| 6.8 伊藤 文勝 | 6.28 清野 太蔵 |
| 6.8 戸嶋 良行 | 6.28 平地 祐子 |
| 6.8 森 進太郎 | 6.28 安藤 美樹 |
| 6.8 田中 俊子 | 6.29 手登根敏夫 |
| 6.8 井上 幹也 | 7.4 長沼富士夫 |
| 6.8 平井 絵美 | 7.4 中村 勝美 |
| 6.8 清水 健司 | 7.4 田中 里果 |
| 6.8 高橋 武弘 | 7.4 船石 憲彦 |
| 6.8 村上 恭子 | 7.4 野中 理恵 |
| 6.8 村田 啓 | 7.4 田村 映子 |
| 6.8 田名網卓治 | 7.6 日笠 和子 |
| 6.8 藤木 美穂 | 7.6 佐伯 太志 |
| 6.13 池田太一郎 | 7.6 丸鶴 賢二 |
| 6.13 藤井夕紀子 | 7.6 工藤 俊一 |
| 6.13 樋口 信昭 | 7.6 堀 謙次郎 |
| 6.13 宮 勝彦 | 7.6 佐藤 但雄 |
| 6.13 藤中 定生 | 7.10 園川 訓 |
| 6.13 近藤 茂樹 | 7.10 渡邊 賢治 |
| 6.13 佐藤 幸雄 | 7.10 佐野 清 |
| 6.13 井上 秀樹 | 7.10 富田 晋平 |
| 6.13 福島 律夫 | 7.10 大野 孝之 |
| 6.13 中川 豊 | 7.10 熊田 武猛 |
| 6.13 山木 志郎 | 7.10 阿部 隆司 |
| 6.13 川田 圭司 | 7.10 渡辺 和幸 |
| 6.15 伊藤 雅夫 | 7.10 大平 正雄 |
| 6.15 岡本 明男 | 7.10 寺家 廣 |
| 6.15 池田 真人 | 7.10 佐脇 東 |
| 6.20 今福 徹 | 7.10 才田 恒夫 |
| 6.26 和田 一男 | 7.12 篠崎 安雄 |
| 6.26 宗保 輝 | 7.12 安部 智美 |

空のかお

その33

牧野 祐一さん

(まきの ゆういち)



サークルに入ってハングを始めてから2年3ヶ月たつ牧野くんは、かの有名な東京大学の3年生。週末は土・日と欠かさず茨城県の板敷エリアに通っているほどのまはりっぷり。長期休暇になると、何週間でもエリアにこもって飛ぶそうです。彼は今、夏に足尾で開かれるハングの学生大会の準備で大忙し。学連の会長を補佐して大会へ向けてがんばっています。「大会にはできるだけ多くの学生に参加して欲しい」と熱く語っていました。「次なる目標っていうのは特にはないけど、大会にも出てみたいし、クロカンにも出て長く飛んでみたい。」と話される、彼の日に焼けた笑顔は、とても印象的でした。大会の準備ががんばってください。

- | |
|------------|
| 7.12 金島 建輔 |
| 7.12 榎井 剛 |
| 7.12 杉浦 公紀 |
| 7.12 久志本 篤 |
| 7.12 永岡 真紀 |
| 7.18 和田 宏一 |
| 7.18 中西 弘明 |
| 7.18 黒岩 隆志 |
| 7.18 新谷 幸雄 |
| 7.18 小田 孝史 |
| 7.19 香椎 保庸 |
| 7.19 前川 稔 |

- | |
|------------|
| 7.19 小林 達 |
| 7.19 井合 澄 |
| 7.24 岡田 一也 |
| 7.25 新井 信弘 |
| 7.26 山口 聡 |
| 7.26 市川 未登 |
| 7.31 金子 妙子 |
| 7.31 長岡 一夫 |
| 7.31 大北と志二 |
| 7.31 古澤 香 |
| 7.31 小林 晃治 |

ハンググライディング

- | | |
|------------|-----------|
| 6.8 村上 輝 | 7.6 伊藤 雅一 |
| 6.8 面川 篤史 | 7.6 仲村 哲也 |
| 6.8 嶋田 正和 | 7.12 岩村 誠 |
| 6.13 鈴木 伸二 | 7.19 井上 崇 |
| 6.16 小塚 伸彦 | |
| 6.16 大参 敏行 | |
| 6.16 籾田 香織 | |
| 6.26 峯田伊津穂 | |
| 6.26 牧野 祐一 | |
| 6.28 千田 和也 | |
| 6.28 笠間 智裕 | |

